

議 事 録

会議名	令和5年度寒川町社会教育委員会議第1回図書館部会		
開催日時	令和5年6月22日（木）午前10時00分～午前11時40分		
開催場所	寒川総合図書館 3階 会議室		
出席者名、 欠席者名及び 傍聴者数	出席者：仲田委員(部会長) 倉本委員(副部会長) 大野委員、澤田委員 欠席者：小坂委員 事務局：高橋教育政策課長 山口教育政策課副主幹 指定管理者：岩淵総合図書館館長 高橋(株)図書館流通センターエリアマネージャー 傍聴者：1人		
議 題	報告事項 (1)令和5年度図書館事業実績報告（4～5月分）について (2)令和4年度図書館指定管理業務総括評価確定について (3)委員報告 協議事項 (1)令和5年度県社会教育委員連絡協議会地区研究会（寒川町会場）事例発表 について		
決定事項			
公開又は 非公開の別	公 開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>1. 開会 あいさつ 仲田部会長 高橋教育政策課長</p> <p>2. 議事録承認委員の指名について 各回名簿順に2名ずつ依頼について、委員了承。 第1回部会は仲田部会長、倉本副部会長が担当する。</p> <p>3. 報告事項 (1) 令和5年度図書館事業実績報告（4月・5月分）について 指定管理者から資料2について説明 【部会長】ただいまの説明に対しまして、ご意見、質問はございますか。ご意見出ないようであれば、私からですが、「大人も楽しい絵本の世界」は待ってました、という感じですが。年をとってから絵本は手に取りにくくなるのですが、本当は大人になってからの方が絵本のことがよくわかると思います。この企画は第1弾ということですが、今後も続けてほしいと思います。それから2022年の来館者はほぼ戻ってきておりますが、貸出点数は少し伸びなかった、来館者＝貸出点数とならないところはいつも考</p>		

えているのですがどうしてなのでしょう。これは質問ではなく、自分に対しての問いです。図書館にお聞きしたいのは、拡大図書、文字の大きい図書ですが、目の見えにくくなった方が読める本などは図書館にありますか。

【指定管理者】 はい、1階にあります。

【部会長】 それではその拡大図書のリストはありますか。

【指定管理者】 定期的に購入して、随時増えておりますので、リストはとくに用意しておりません。利用者から問い合わせがありましたら検索して一緒に探すことはしております。

【部会長】 なぜお聞きしたかという、私は寒川町の介護サービス相談員をやっている、介護施設では目が見えにくくなった方が拡大図書を読むことを楽しみにしているそうです。各施設に拡大図書のリストがあれば、わざわざ図書館で検索してくださいといわなくても施設の中でそれを読むことができます。それなのでお時間があれば拡大図書のリストを作ってください、介護施設にそれを常備してもらえればいいのかなと私は思っております。

【指定管理者】 定期的に購入をしているので、毎月更新というのは難しいのです。

【部会長】 年に一度でもいいです。

【指定管理者】 作業量にもよりますし、あとは提供できなくなった本をリストに載せておくことも借りようと思った時に実際無かったということがないようにしなければならぬので、1～2年で更新して作るようになるかと思えます。

【部会長】 とにかく寒川町にも拡大図書があるということがわかるだけでも違うと思えます。それなので更新が大変なのは重々承知しておりますが、前向きにこんな本がありますというのでよろしいので作っていただければと思います。高齢介護課に図書館ではこういうリストがあるといいと思いますので。

【指定管理者】 ありがとうございます。

(2)令和4年度公民館指定管理業務総括評価確定について

【事務局】 寒川町では公民館と図書館に施設管理と事業運営を公募した民間事業者が行う指定管理者制度を平成29年から導入し、1期5年毎に事業者選定を行います。令和4年度は2期目の初年度でありました。図書館については、毎年、外部モニターによるモニタリング評価を実施し、指定管理業務総括評価を出しております。多様な視点による評価を行うため、社会教育委員から外部モニターを選出していただいております。令和4年度は是枝委員、今年度は倉本委員にお願いしております。モニタリング評価の流れは、資料3をご覧ください。指定管理者施設は町と協定書を締結し、毎年度事業計画を提出、事業を実施していただきます。図書館は施設類型Ⅱにあたります。モニタリング評価の方法は、毎月の月例報告書や年度報告書、利用者アンケートなどの確認し、年に2回、外部モニターによる確認を行い、問題点があれば指摘し、改善を指示します。外部モニターによるモニタリングでは2回の結果をもとに、総括評価票を作成し、指定管理者による自己評価としての一次評価、教育政策課で協定書や事業計画、モニタリングや一次評価の結果をふまえた二次評価を行います。二次評価までの入れた段階で指定管理者選定委員会において概要報告を行い、「3. 総

括評価」の事業・評価内容の確認と総括評価への意見が出されますので、それを次年度以降の事業計画に反映してもらう流れがモニタリング評価を行う意義となります。資料4の総括評価票にある評価項目は、ベースが町の共通の様式となっているため、施設そのものの管理、運営等に重点を置いておりますが、図書館につきましては、施設の設置目的として催しや利用者サービス等の事業面での評価が重要であると考えられるため、「事業運営」の項目の評価が他の公共施設よりも厚くなっています。令和4年度の図書館の総括評価については、所管課としては基本的に良好と評価しました。令和4年度も新型コロナの影響がある中、安全対策を第一に考えた苦心の運営に取り組まれておりました。図書館は町民の学びを支援する学習拠点として、予防対策をとりながら図書館サービスを行っていただき、工夫や成果の見られる取組もありましたが、最終的な年間の来館者数と貸出点数は残念ながら令和3年度よりも減少するという結果ではございましたが、努力をして図書館サービスに取り組んでいただきました。その中で評価できる点としましては、「人員体制」の項目では、図書館司書の有資格者が図書館職員の60%以上を確保・維持しており、選書やレファレンスなど図書館として質の高いサービスを提供しようとする姿勢を評価しました。なお、図書館は町内町外、幅広い年齢の方の利用があり、いろいろな意見が寄せられます。カウンターや事務室に直接ご意見、クレームに近いことをされる方もいるため、齟齬もでないように必ず職員2人以上で対応するようにしているとのことでした。スタッフがほぼ女性であることもあり、残念ながら男性利用者によってはかなり高圧的な態度、大声を上げてクレームをする方もいらっしゃいます。昨年度はその様子を見た他の利用者が図書館スタッフのことを心配して警察に通報したという事例もありました。クレーム対応の研修は毎年実施しておりますが、令和4年度は新たに防犯研修を行い、カラーボール、さすまたなどの防犯用具も新規購入したとの報告がありました。実際に使用するためというよりも、万が一の時や目に見える場所におくことで抑止力にも繋がりますので、必要な視点だと考えております。「経理事務」の項目で、光熱水費の高騰について触れておりますが、ウクライナの戦争の影響もありまして、令和4年度は前年度より電気代、ガス代が1.5倍ほど高騰している状況です。図書館も毎月の光熱水費の使用量と支出状況の報告いただきながら、当初の光熱水費予算から数百万円超過し、町へ支援要望の文書を出していただきました。寒川町では令和4年度は光熱水費の不足額の半分を支援金という形で指定管理料の補填を行いました。令和5年度も引き続き光熱水費の高騰は続いている状況ですので、動向には注視していく予定です。続きまして「利用者対応」の項目で、二次評価の欄に記載しておりますが、学習席の対応について、利用時間や受付方法については利用者アンケートでも賛否の意見「使いにくくなった」という声もあり、「時間になったら使える目途が立つようになった」と両方の意見が出ております。所管課としては、利用者サービス向上と職員の手続の負担軽減の両面を考慮して検討する必要があると記入させていただきました。「事業運営」の項目で、令和4年度はほぼ予定していた講座・イベントが実施でき、とくにおはなし会ボランティアと配架書架ボランティアの活動が再開し、ボランティアの募集、育成を行ったこと、寒川東中学校の図書委員との連携し展示を行ったこと、これは

大変良い取り組みだと思っております。ジュニア司書講座に参加した子ども達がその後の活動を継続してくれていること、3年ぶりの図書館まつりでは多くの来館者があったことは良かった点として優良の◎として評価しました。最終的な総括評価につきましては、所管課としては来館者、貸出点数の減少が課題でありまして、利用者呼び込みのための情報発信の強化と、多様な主体、学校であるとか、地域の団体、ボランティアなどと連携し、図書館を利用しない人と繋がる視点をもつことが必要であると評価させていただきました。もはや寒川総合図書館はできたばかりの新しい施設ではない、町民誰もが知っている施設ではないということを自覚して、どうやったら足を運んでもらえるか、子ども達の読書推進に繋がるか、今年度はとくに来館者数・貸出点数を増やすための努力、改善してもらいたいと考えております。総括評価に関する報告は以上です。

【部会長】 ただいまの説明に対しましてご意見、質問はございますか。それでは私から。すごくいろいろなことをおやりになられて、コストがかかることが多いようですが、とにかく優先順位をしっかりとつけて、自分たちがつぶれないようにしていただければと思います。よろしく願いいたします。

【指定管理者】 ありがとうございます。

【委員】 中学生の連携はぜひ寒川中学校でもお願いいたします。前回もそのお話しをさせていただいたのですが、コロナ禍を経て先生たちも消極的な様子が見られます。ちょっと話がそれてしまうのですが、先日は職員バレーの練習をすると呼びかけたのですが、反応が全くなくて、やる気がないのかなと思ったのですが、ふたを開ければ練習にはやってきていました。状況が整っていればやれるのですが、なかなか自分たちからアクションを起こしづらい若手が増えてきたように感じております。それなので、せっかく中学生が活躍できる、世界が広がる、図書館と繋がることで、図書館は楽しい、こんなことができるということがもっと校内で広がれば、図書館を知るきっかけになると思っています。先日、若い職員を見てそんなことを思っていたのですが、勝手なお願いではありますが、こういうことができますかどうですかと図書館からお声かけいただければ多分できると思います。本校の職員にもそんな話をして、いいですね、やりたいです、とは言うのですが、実際にはこちらが後押しししないとなかなか動かないところもありますので、ぜひこんな企画はどうでしょう、やりませんかとお声かけいただければ、きっかけになると思います。ぜひ連携させていただきたいので、よろしく願いいたします。

【指定管理者】 ひとつお聞きしたいのですが、昨年連携した寒川東中学校の図書委員との展示の時に先生からお伺いしたのが、図書委員会は前期・後期に分かれていて、忙しい時期がそれぞれあるとのことで、図書館に協力できる、できないが変わってくるとのことでした。寒川中学校も図書委員会は前期・後期といった活動ですか。

【委員】 はい、同じです。3年生だけ年間を通して委員会をやることになっています。入試が絡むため、後期は活動できなくなってしまうのですが、1年間を通じてやっております。ただ、1、2年生でそういう経験ができると、図書委員の楽しさがわかると思います。図書委員会はとくに本が好きな子達がやっていて、図書館の貸し出しに生きがいを見出している子もいますので、そういう世界が広がったら素敵だと思いま

す。

【指定管理者】ありがとうございます。それではご協力いただける時期などは図書委員会の担当の先生におたずねするかもしれません。どうぞよろしくお願いいたします。

(3)委員報告

仲田部会長より 6 月 12 日に開催された令和 5 年度神奈川県社会教育委員連絡協議会総会への出席報告

4. 協議事項

(1)令和 5 年度社会教育委員連絡協議会地区研究会（寒川町会場）の事例発表について

【事務局】来年 2 月 15 日の寒川町での地区研究会の事例発表について説明させていただきます。図書館部会の発表内容は、過去に協議した内容をもとに発表を行うことを確認させていただいております。前回の部会で仲田部会長から素案を見せていただきましたが、今回はそれを基にした発表資料の案をいただきました。資料 6 がプレゼン資料、資料 7 が口述の素案になります。これから仲田部会長にプレゼン内容のご説明をいただきます。内容については今回と次回の部会でさらにご協議いただきたいと思いますと考えております。なお、資料 8 は総合図書館の子ども読書推進事業の実績状況、資料 9 が今年 3 月にでました国の子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画の概要となりますので、協議や発表内容の参考に本日資料としてお付けしました。まずは発表テーマが「本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために～総合図書館を拠点とした子どもの読書活動支援～」とあります。寒川町の子どもたちが本に親しむためには、家庭教育、学校教育、社会教育とそれぞれのライフステージで接点がありますが、総合図書館を拠点としてできる読書活動はどのようなことをしてきたのか、これからどのようなことができるのか、ということが発表内容の中身となります。部会長の素案では内容構成が、1 テーマの選定理由、2 現状と課題・取組、3 事例紹介は寒川総合図書館の特色ある事業としてのジュニア司書制度、4 まとめとして、スライドが 24 枚で作成していただいております。発表時間は 25 分予定なので、1 分あたりのボリュームはスライド 1 枚、口述は 300 文字程度だと考えていただくとわかりやすいかと思います。まず部会長からプレゼン資料について説明をお聞きいただき、それから皆様に内容を聞いてご意見をいただき、協議していただければと思います。

【部会長】はい、私が資料を作成してみました。もう一度通して聞いていただいて、全く知らない人が聞いた時にどう思うかというところを皆さんにご意見いただきたいと思います。

<仲田部会長より資料 6 のスライドにあわせて資料 7 の口述を読み上げ>

【部会長】今、説明に 21 分かかりました。これは私の作りこみなので、これから皆さんからのご意見を聞きながら修正させていただければと思います。

【事務局】説明発表ありがとうございました。今、お聞きして皆様からもお気づきにな

る点があったかと思います。本日も協議いただきたいことは、このプレゼン資料を基にしまして、気になる点であるとか、たとえば事例発表はジュニア司書をまず取り上げていただきましたが他にこの事業を取り上げてはどうかといったご意見がありましたら、25分間に収められるように別の部分の説明を削って調整することなど考えられるかと思います。皆様から協議いただく前に事務局からもひとつ、今のプレゼンをお聞きしております、気になる点がありましたので先に意見を述べさせていただきます。最後のまとめになりますが、「4つの課題が見つかりました」と終了するのは、ちょっとおさまりが悪いような気がしております。現状はこういう状況で、このような課題があり、改善のための取り組みを行って、こういう成果が出た、今後については4つの課題がある、という出し方ではなく、このような点をさらに充実させていく、というようにしてはどうかでしょうか。ここの部分は説明のボリュームもありますので、最後は課題が見つかったというよりも、発展的な形で提案することで発表を締めるのはどうだろうかと思いました。

【部会長】 作者としては、今後の課題ではなく、今後の反省という形にして4つの反省点が見つかりましたとすれば落ちるのかなと。反省という言葉が悪ければ、別の熟語に変えるべきとは思いますが。課題、課題というのもおかしい、あらためてごもっともだと思います。この他、皆様、素直なご意見いただけますでしょうか。そうしないとこのまま、もやもやしたまま1月を迎えることになってしまいます。今ならば何をいっても大丈夫ですので。

【副部会長】 ブックスタートの件なのですが、7ヵ月検診の時に本をお渡しするという活動ではあるのですが、資料7の一番最後の補足のところで、ボランティアが読み聞かせをしているとありますが、今やっていないんですね。

【事務局】 ボランティアをやっていただいておりますが、まだ再開されないということですね。

【副部会長】 はい、そうなんです。私たちも待っているのですが、声がかかればすぐ入れると思うのですが、ボランティアを入れて再開していないので、ここにボランティアがやっていると説明をすると現状とは違うとは思いますが。

【部会長】 これは平成30年度から令和3年度までの4年間の活動に対するプレゼンテーションなので、現在のことは質問が来られた時に、コロナ禍で中断していると答えることができると思います。

【副部会長】 そうですね。今後、また安全な時期になれば入ってもらうとはっきりわかっていけばいいのですが、今は全く続けられていない状態ではどうなのかなと思ってます。あとは、スライドでおひざにだっこのおはなし会の画像が入っていて、ブックスタートが入っていないのはなぜかと思ったのですが、ブックスタートは今やっていないからでしょうか。やっていけば、ここにブックスタートの画像を入れてもいいのではと思います。

【部会長】 作者としては、このスライドは総合図書館のホームページから画像を引用しているからです。

【副部会長】 図書館の活動だけということですか。

【部会長】 いえ、そういうことではなくて、総合図書館からの画像を使用しているの

で、他のホームページは著作権の関係もあるので入れていません。

【副部会長】なるほど、わかりました。

【部会長】今のご質問のようなことを聞かれた場合には、そう答えようと思っていません。説明になんでも入れてしまうと25分では終わりません。これの4倍くらいの文章を作って、結構削る作業をしています。疑問に残ったことはすべてQ&Aで答えられるようにしておくのがベストだと思います。大変貴重なご意見をいただきましたので、多分そういうことを知っている方から質問が来た場合には、回答としては現在活動しておりませんが、これからコロナ禍のことを考えると今やるべき活動だと考えていると答えようと思っております。今、お話しが出ましたが、プレゼンテーションで使った画像は図書館のホームページから引用しているので、クレジットを入れておりますが、事前に承諾は得ていないので、この場でお詫び申し上げます。

【指定管理者】はい、承知しました。画像でいくつか令和4年度のものも入っていますがとくにそれは気にしないでいいですか。

【部会長】説明が必要なところで、こういう画がほしいというところをホームページから持ってきております。

【指定管理者】説明は平成30年度から令和3年度までですが、画像などはその時期から外れていても、使っているということですか。

【部会長】はい。

【指定管理者】そうなる、ジュニア司書もアイスブレイキングとか講座など紹介していただいたのですが、実は今のジュニア司書講座ではアイスブレイキング的なことはやっていなくて、お互いを知る簡単な自己紹介をしてもらっています。説明の画像にはいっている遊び的な感じではやっていないのですが、どうしたらよいでしょうか。令和4年度の活動の画像を今年度のジュニア司書養成講座のポスターに使っていますので、これを入れていただいても構わないのですが。

【部会長】わかりました。図書館から新しい画像を提供いただけるということですので、よろしくお願いたします。アイスブレイキングの画像は緊張をほぐすという言葉で説明しましたが、アイスブレイキングとは結構いろいろな捉え方ができるので、自己紹介や雑談もそれに入ります。緊張をほぐすという説明をアイスブレイキングとして画像とリンクした形で使わせていただければ問題ないでしょうか。

【指定管理者】はい、わかりました。実はこの画像が直営時代で、私たち指定管理者がまだ入っていない時代なので、今やっていることも含めて差替えていただけたら。

【部会長】平成30年度から令和3年度まで、約1年半前のことをここにまとめています。これはその提言を説明に落とし込んだものです。結果としてすでに実行して成果が出ているものをプレゼンテーションに入れていきますので、今我々がやっている活動と違うことは多々あるかと思えます。先ほどもご意見いただきましたが、質問があった時には今はこういう形でやっていると答えるので、まずは自分たちの中で整理して持っていることが必要だと思います。そこで質問がでなければ、我々は現状を再認識するための資料になります。誤解を受けるような話をしておりますが、あくまでも過去の話をもとめて、結果として地区研究会の場で発表する内容になります。

【副部会長】もうひとついいですか。最後の補足のところ、またブックスタートのこと

になるのですが、説明をする時にブックスタートと聞いて、言葉でイメージできる方はそんなにいないかと思いますが。ブックスタートがどんなものかというのを一文くらいで説明ができるといいと思います。寒川町では平成19年12月から実施という説明は合っていますが、世界的なブックスタートは海外のどこかの国ではじまって広がり、日本でも横浜や北海道などの大きな市の図書館が主体となって動き出して、寒川町では平成19年から、とつながります。ブックスタートについてももう少し説明があれば、なるほどと思っただけなのではないかと思います。

【部会長】では補足で最後のページに書いてあることを10頁の0歳児のブックスタートに入れろということですね。

【事務局】入れた方がよりわかりやすい、発表を聞く人が皆、当然ブックスタートがどのような活動なのか知っているわけではない、地区研究会はとくに寒川町以外から来る方なので、ブックスタートは何かということをもう少し説明を加えた方がいいのではないかということですよ。そうした方が皆さんイメージしやすくなります。

【副部会長】はい、そう思います。

【部会長】では入れましょう。少なくとも平成19年から寒川町で始まっていることはあっていますよね。それだけは必ず入れないといけないし、元になる起源はどこかということはあると調べましょう。

【副部会長】健康管理センターに関連の本がありました。

【委員】よろしいでしょうか。ブックスタートは子どもだけでなく親が当然連れて来る訳で、その親御さんに本や絵本に目を向けていただくきっかけとなる、それが今後の子どもの育成に重要なことだと思います。そこがこの頃は抜けているような気がします。昔は結構、何のためではないけれど、絵本はこんなに力があるんだよ、というところから絵本を読んでもらったり、読んでくれるボランティアさんがいました。今も読んでくださっているのだけれど、絵本などは今聞いたから、読んだから、すぐに効くものではなくて、将来その子を大きくするものが、絵本であり、語りであり、本であると私は捉えているものですから、ボランティアさんもそういう意識を持った人であってほしいと思います。ちょっと話がずれてしまいましたが。ついでに、本が大好きな寒川の子どもたちを育てるためにということで、最初の一步は親が話してくれる語りや絵本だと思うんです。一番最初の本は絵本、それから親が話してくれた話、おじいちゃん、おばあちゃんも含めて、そのあたりからもう一度絵本はこんなに大きい力があるということを親御さんも、ボランティアさんも、ただ「いい絵本だよ」というのではなく、そういう意識を持ってくれると嬉しいと思います。

【部会長】それをどうやって説明するのですか。これを地区研究会で発表しなければいけません。

【事務局】家庭教育が重要だということで、それを支援する取り組みとして、ブックスタートがあるというご意見になるでしょうか。そのために家庭で親から子へ読み聞かせをするのがまず第一、赤ちゃんが物語に触れる機会であるのですが、それを親御さんが始めるにもなかなか今はどうしたらいいかということで、ブックスタートで親も絵本に出あってもらったり、図書館のおひざにだっこのおはなし会に参加したり、子育て支援センターのわらべうた遊びに参加したりすることで、寒川の図書館スタッフ

が出向くことで、図書館のアウトリーチ活動にもなっていますし、図書館に来れば絵本がたくさんあることや、毎月のおはなし会のことを知ることで本に触れる習慣が親御さんにもできるというところにつながるというのかなと思いました。それを導入部分で紹介すると、いいのではないのでしょうか。

【委員】 どこで聞いたか、読んだか覚えてはいないのですが、何を読んでくれたかではなく、誰が読んでくれたか、それが印象のトップの方に入るそうです。おはなしもそうで、誰が語ってくれたか、見せてくれたかが大きいということで、その通りだと思ったんです。どんな絵本かは忘れてしまったけれど、おばあちゃんが何回も読んでくれたとか、誰が読んでくれたか、そこの「誰か」というところに図書館も入るのですが、図書館に連れて行ってくれた人、そういうことが心に残る。それはまずは親御さんででしょうか。絵本は大人が読んでもおもしろいものなので、それは子どもが静かにしているからといってぽんぽんと与えるのではなくて、絵本はおもしろいんだよとお母さんが感じられるような、お父さんも寝転がりながらも子どもに絵本を読んであげられるそういう場が図書館でなにか企画ができれば。絵本は子どものためだけではありません、というタイトルはすごく印象的です。それなので一番最初は親、おじいちゃんおばあちゃんが読んでみせて、聞かせる、それから図書館と一緒に足を運んでということだと思うので、そのようなことを何かの時点で前に出す、今はそれが出ていないです。昔はそれを前面に出しながら絵本は大事ですよと言われていた時期があったかと思います。もう一回そこに戻る時だと最近考えています。

【部会長】 今、発表したのは私が作りましたが、完成版ではございません。シナリオを皆さんにお渡ししていますがこれは全員の方が書き直して OK なんです。それなので今おっしゃったことを書き直してみてください。それで提案してもらえればいいんじゃないですか。私がああだこうだと直すものではありません。皆さんが提案して一つのプレゼンテーションにして発表するものです。全員参加です。これは独断で作ったと説明する前に言いました。それなのでこれはただの下書きで完成版ではございません。

【委員】 すみません、責めたわけではないのです。

【部会長】 いえ違います、今おっしゃったことをどうやってまとめようか非常に混乱しています。それなのでご自分の言葉で書いていただければそこに落とし込めるのかなと思いました。皆さんからのご意見すべてそうです。誤解されているようですけれど、これはただのメモ、完成版ではございません。画像の方も同じです。最初に戻りましょう。このような内容、流れで問題ないかということ、まずジュニア司書と中学校の活動を事例紹介しましょうかということでしたが、25分の中に入りません。今、私の発表は早口で20分でした。もしこれを発表するとなると、25分ぎりぎりになると思います。少なくともこの発表は2名の方をお願いしたいと思っています。全員参加ですので、私がパソコンを操作しますので、他の方に説明をお願いします。最後に私は閉会の言葉を担当します。それ以外にも司会の方が必要になります。それなので早めにこれを切り上げて、練習に移りたいと思います。それなので、このメモを見て、ここは違うと思うというところは8月に自分の言葉で書いたものを提出していただいて、このようにしましょうということをお願いできれば、それを落とし

込むことはすぐできます。そういうことでよろしいですか。これはやれと言っているのではなく、そんなことになるなら私はやらないというような後ろ向きの話をしているのではなく、発表するのは我々です。それなので、本当に自分が納得した言葉でプレゼンテーションをしましょうよ。今、概要をすべて皆様にお話ししました。この内容でまず大筋は問題ないか確認させてください。そういたしますのは次までに全部変更するのはかなりの時間を要しますので、このような流れでよろしいかということだけ、皆さんいかがでしょうか。テーマの選定理由、現状と課題、取組、事例紹介、ジュニア司書、まとめ、ということになります。制約は25分間に収めることということになります。ひとつ皆さんにお聞きしたいのは、章に入る前に扉をわざと入れておりますが、これはなぜ入れたかといいますと、複数人で発表する時にどこをやっているかわからなくならないように、聞き手に関しても扉があることで事前に発表内容がこうなるんだなということを知るように入れております。これで問題ないですか。

【副部長】 いいと思います。

【部長】 ちょっとまとまりがなくなりましたが、どうでしょうか。

【事務局】 部長に本日の素案を作ってくださいましたが、次回8月の会議なので、例えば7月末までに、資料7のこのページのこの部分にはもう少し説明を加えたい、説明の言い回しをこのようにしてはどうか、といった意見を皆さんに朱書きで書き込んでいただくか、こちらで記入シートを作って、皆さんにお送りして、7月末までに書いていただき、事務局に提出いただくというのはどうでしょうか。それをもって8月の会議に皆さんで協議して完成版に近づけていくことでどうでしょうか。

【部長】 今の事務局の提案でよろしいでしょうか。

<委員了承>

【部長】 それではお手数ですが、資料7をお目通しいただいて、自分ならばこうしたい、ここが抜けている、間違っているというようなところがあれば全て指摘してください。

【事務局】 それでは記入用のシートを作ってあらためてお送りいたします。

【部長】 ページだけ入れていただければ、そこに対する説明文だということがわかれば直します。

【事務局】 あと、この発表の元になった提言が平成30年度から令和3年度までの4年間なのですが、実際に今は令和5年度で、令和4年度も図書館事業がいろいろあったり、コロナ禍で以前とイベントの持ち方が変わったりということもありまして、令和4年度の状況も踏まえた形で発表してはどうかと思っています。ジュニア司書は令和4年度のものにバージョンアップして発表した方が実態に合っているかと思えます。ジュニア司書の事例紹介の部分は図書館側で口述内容を直していただくかと思えます。いかがでしょうか。

【部長】 はい、この素案はすべて独断ですので、皆さんの意見をどんどん取り入れてより良いものにしたいので、可能であればお願いしたいです。

【事務局】 ジュニア司書の画像も令和4年度実施の新しいものに入れ替えた方がより良いと思います。読み聞かせをしている風景であるとかその他の写真や説明図は、こういう写真があったらいいのではないかとということであれば、今年の2月までにそうい

	<p>う写真を撮るとかまだ間に合いますので。</p> <p>【事務局】あまり構えずに、気がついたことを箇条書きでもいいのでどんどん出していただくのがいいと思います。先ほどの絵本との出会いに関するご意見も、一番大切なとっかかりのところ、とにかく子どもへの読み聞かせはいいのだといってもそもそもなぜかということを考える方もいらっしゃるでしょうし、原点の頃はこうなのだとあたらめて確認してスタートするのは大切なことだと思います。</p> <p>【部会長】ひとつお詫びしたいのは、私は図書館についてあまり詳しくありません。この素案は前任の委員の提言書から落とし込んで作っています。それなので委員の皆さんに確認していただいて、訂正を入れてもらって変えていった方がいいと思います。そのためのたたき台です。ご自分の言葉でここはこうしないといけないであるとか、こうなるべきだということをぜひお願いしたいです。その他のことでご意見などありましたらお願いいたします。ないようであれば、本日の協議はここまでといたします。</p> <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の部会の開催予定について 令和5年8月24日（木）午前10時～ 北部文化福祉会館2階会議室 ・ 県社会教育委員連絡協議会の今後の予定 <ul style="list-style-type: none"> 研修会（総合教育センター）9月4日（月）倉本委員・小坂委員 県公民館大会（綾瀬市） 1月26日（金）山口委員・堀委員 地区研究会（開成町） 1月27日（木）山口委員・倉本委員・森委員 地区研究会（寒川町） 2月15日（木）全員 <p>6. 閉会 倉本副部会長</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 令和5年度寒川町社会教育委員会議 公民館部会 名簿</p> <p>資料2 令和5年度寒川総合図書館月報（4月分・5月分）</p> <p>資料3 指定管理施設に対するモニタリング評価のフローチャート</p> <p>資料4 令和4年度総合図書館・文書館指定管理業務総括評価票（最終確定版）</p> <p>資料5 モニタリング票・総括評価表の各項目説明</p> <p>資料6 地区研究会（寒川町会場）事例発表用プレゼンテーション資料(案)</p> <p>資料7 地区研究会（寒川町会場）事例発表用プレゼンテーション説明文章(案)</p> <p>資料8 寒川総合図書館の子ども読書推進事業実績</p> <p>資料9 第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画の概要</p> <p>資料10 令和5年度寒川町社会教育委員会議日程（R5.6月時点）</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>・ 仲田 政一 ・ 倉本佳子</p> <p style="text-align: right;">（令和5年7月31日確定）</p>